

アメリカ合衆国の臨界前核実験に抗議し 世界の恒久平和を求める要請書

広島・長崎に落とされた原爆は一瞬にして多くの尊い生命を奪い、被爆から73年を経た今日でも、多くの人々がその後遺症に苦しんでいます。

このような悲惨な経験を二度と繰り返すことがないように、核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは、すべての人類に課せられた最大の責務であります。

非核三原則を堅持し、核兵器の廃絶を全世界に訴え、平和都市となることを宣言している板橋区は、貴国が過去に行った度重なる核実験に対し、その中止を要請してまいりました。

このたび、貴国が昨年12月13日に臨界前核実験を実施していたとの報に接しました。実際の核爆発を伴わないものとはいえ、核兵器を廃絶し恒久平和の実現を求める、世界中の市民の願いを踏みにじるものであります。

ここに私は56万板橋区民を代表し、これ以上いかなる核実験も行わないよう要請するとともに、核兵器の廃絶と世界の恒久平和のために、貴国がより一層積極的な役割を果たされるよう強く希望します。

2018年10月11日

アメリカ合衆国大統領

ドナルド・トランプ 閣下

東京都板橋区長 坂本 健